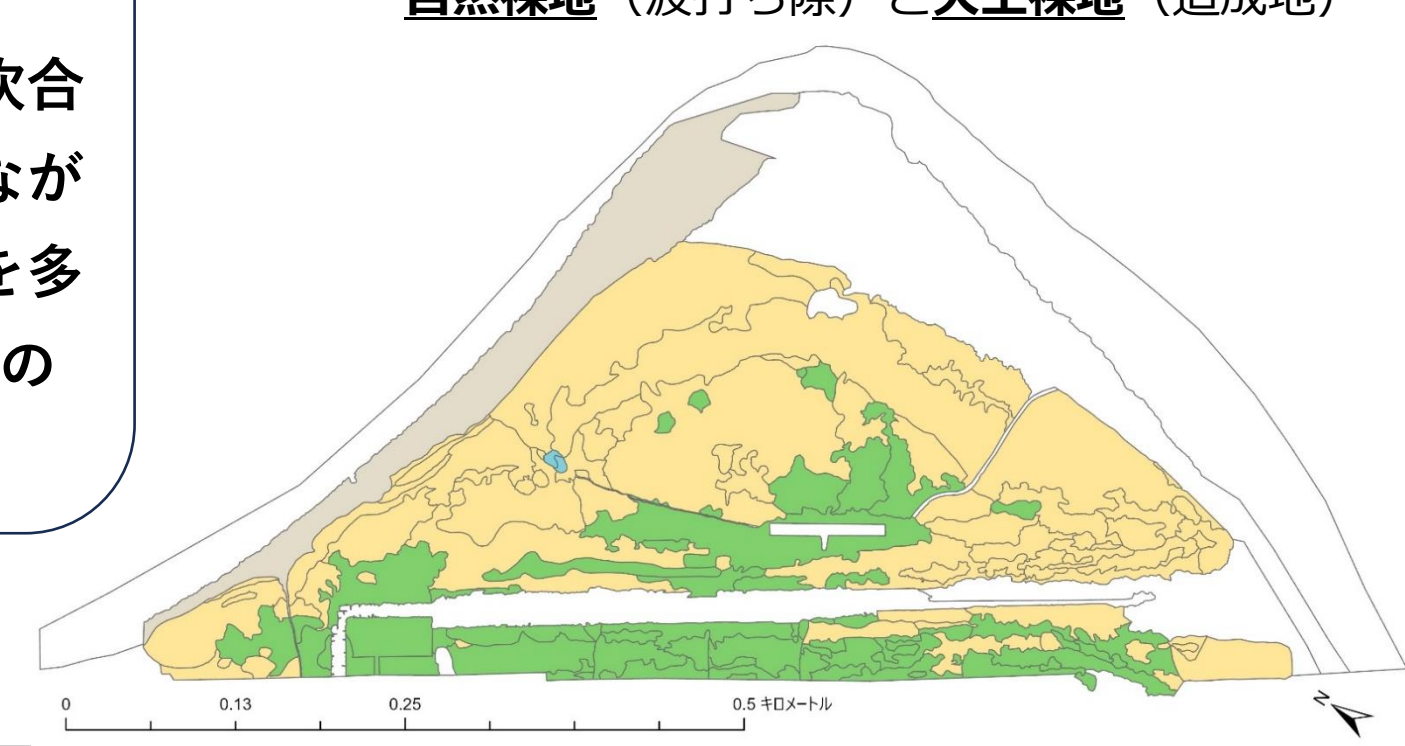


はじめに

世界文化遺産富士山の構成資産である三保松原。特に、羽衣の松付近には一年中多くの観光客が訪れにぎわっています。しかし、三保半島先端の吹合ノ岬まで足をのびず人はあまりいないことが課題となっています。この場所には、流木を利用して暮らすクワガタそっくりな昆虫や、地面を這いながら枝を伸ばして一面に紫色の花を咲かせる植物など、海辺に特有な生きもの織りなす景観が広がっており、私たちはこの魅力的な生きものたちを多くの人に知ってもらうことが、三保半島先端にひとがくるきっかけになると考えました。ここでは、吹合ノ岬を構成する「4つの自然環境」とこの場所をもっと楽しむための「Step1:PR動画」、「Step2:動く散策マップ」をまとめたポスターを紹介します。

白地の場所は生きものがほとんどいない場所。
自然裸地（波打ち際）と人工裸地（造成地）



【4つの自然環境】

流木ゾーン



一見、漂着したゴミが散乱しているだけの場所。ペットボトルやビニールも交じっている。しかし、ここには流木をすみかとして強く生きる者たちや、群れることなく生える植物がいる。この場所で一番紹介したいのは、クワガタのような形のヒョウタンゴムシという昆虫。そして、流木をひっくり返すと大量に飛び跳ねる、ハマトビムシの仲間。彼らは、漂着物を隠れ家にして生活している。



池ゾーン



広大な砂浜のなかにいきなり現れる池。この池の水位は海面より高く、潮の満ち引きに合わせて変化する。池の水は淡水で、トンボやアメンボといった、水辺の昆虫が集まる。池の横には、干潟にしか生えない珍しい、ハマボウ（花期7月～8月）という木が自生している。堂々とした枝ぶりは、この場所の「シンボルツリー」といえる。



海浜植生ゾーン



砂浜には海浜に特有な植生が広がる。春から夏にかけて色鮮やかな花々を一面に咲かせる。特にハマゴウが一面に咲く様子は圧巻。ハマゴウの間を縫って歩くと、ハーブのような香りがしてくる。ハマゴウの間には、ハマエンドウやテリハノイバラが風をしのいで生育している。ハマゴウやテリハノイバラ、ハマエンドウの花めがけて吸蜜に来る昆虫や、その昆虫を捕食するネズミなどの小動物がすむ。



茂みゾーン



多年草のススキやチガヤが生い茂るこの場所には三保飛行場の滑走路がある。夕日や朝日に照らされた穂が、風になびく様子は日本の昔ながらの景色で風情がある。ススキの他に外来種の植物や除草が困難な草が多く生える。また、夜行性のタヌキが、ひと目を気にせず滑走路をゆったり歩いている。ため糞をみると、テリハノイバラやハマゴウなど多種類の実を餌にしているのがわかる。



流木の下にいる生きもの



木片の中には米粒ほどの大きさのハマトビムシの仲間が沢山飛び跳ねている。甲殻類の仲間。



海浜に特有なダンゴムシ。とても大きい。流木や枯れた植物を食べて生活している。

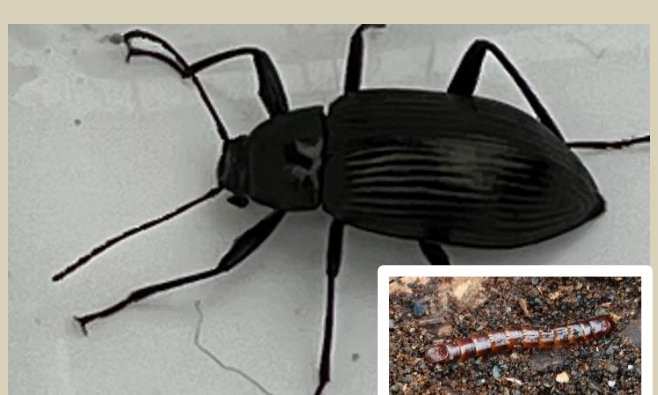


大きな顎(あご)がカッコいい！まるでクワガタ。黒光りする体はまさに海辺の黒いダイヤと言える。

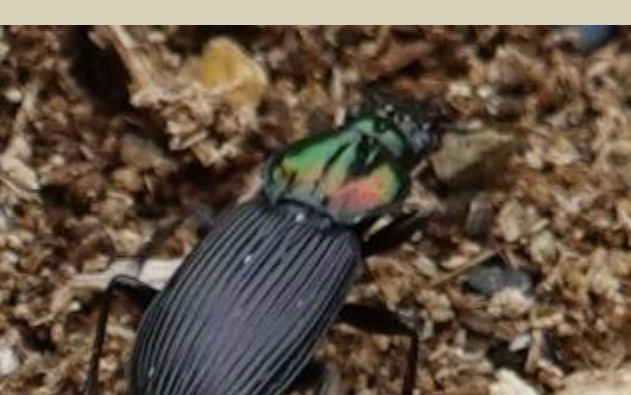


一見、羽が無いように見えるが、実は羽を隠して素早く飛ぶことが出来る。

流木の中にある生きもの

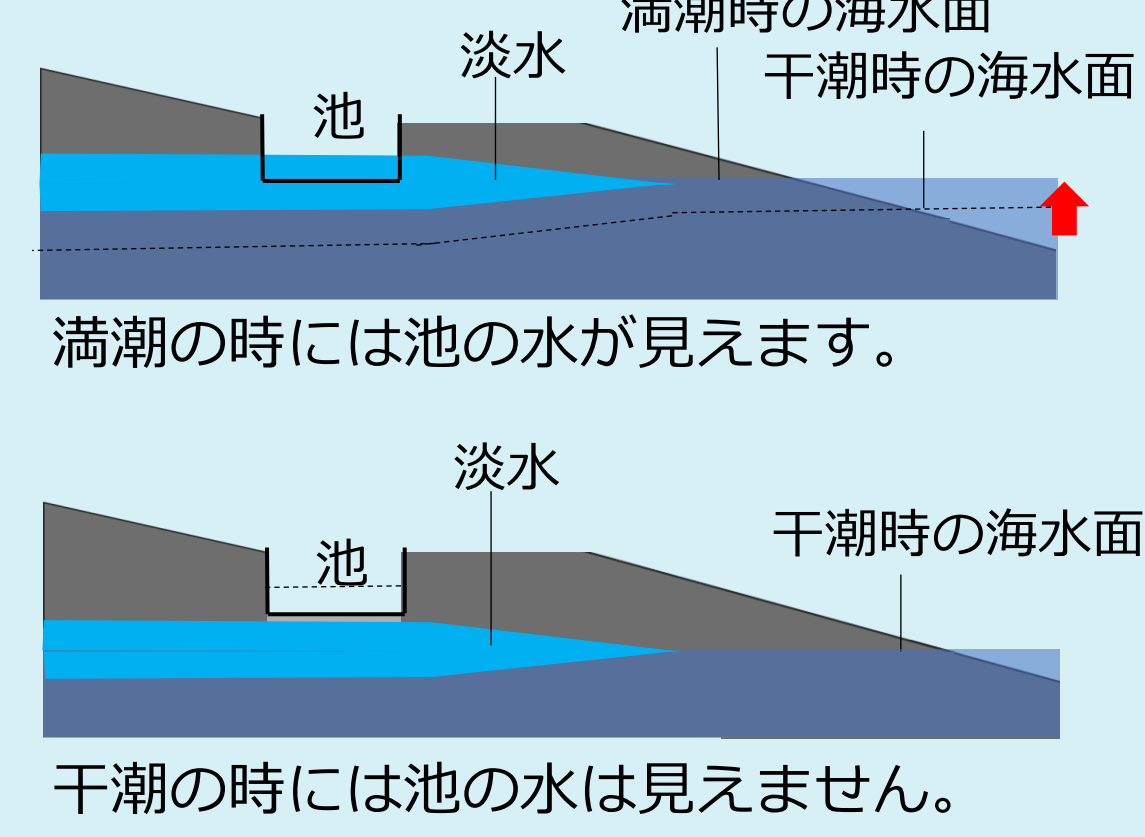


キマワリとその幼虫。朽ちた木を食べる。



胸の色が輝く。他の昆虫を捕食する。

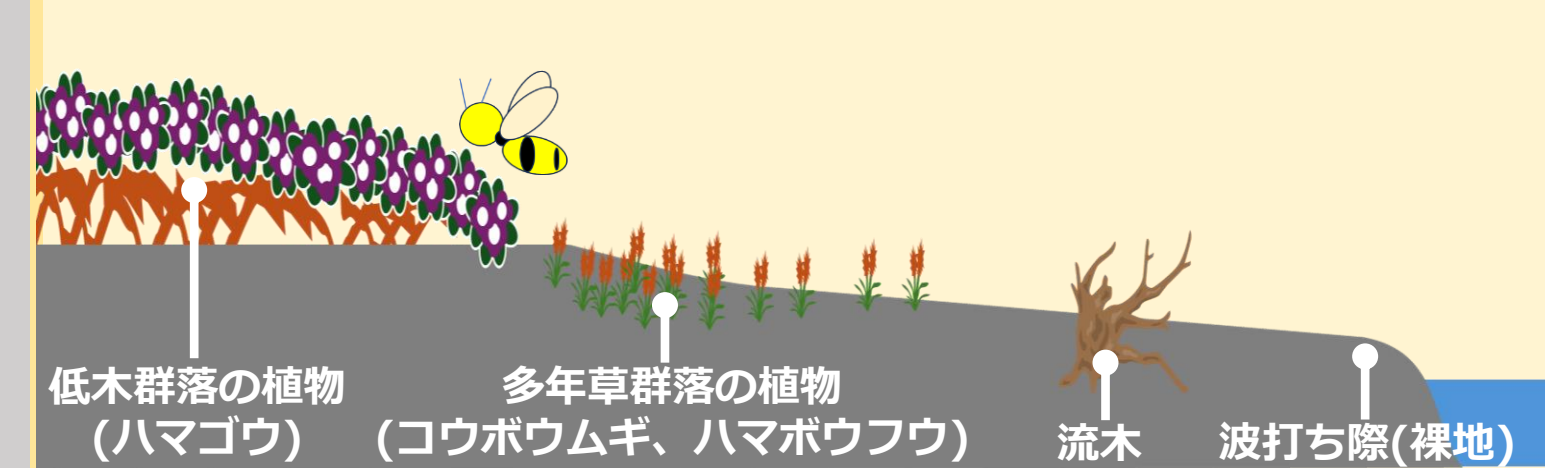
池が消えたり現れたりする仕組み



ハマボウはカニがたくさんいるような干潟に生えてくる木。全国的に干潟が少ないこともあり、この木を見られたら幸運。7月初旬から8月末まで咲く黄色い花は、日本のハイビスカス。



海浜植生のおもしろさ



海浜植生は、海辺から陸地に向かって遠ざかるほど、地面を覆う植物の数とその背丈が増えていく特徴がある。上の図でいうと右から、
波打ち際（裸地）→流木→多年草の植物→低木の植物（ハマゴウ）
になっているのが分かる。

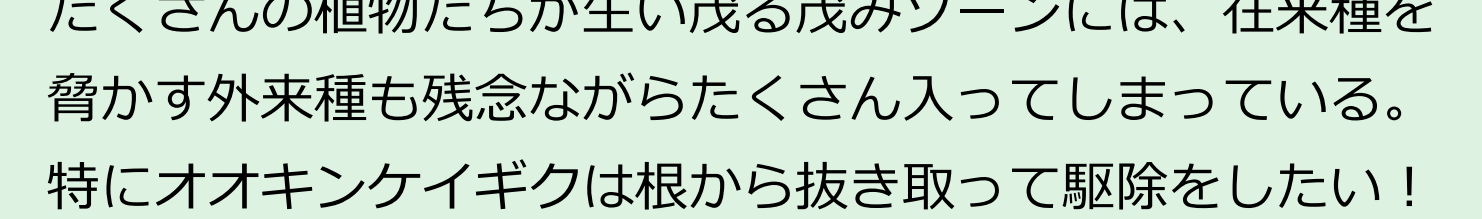


じつは外来種！



たくさんの植物たちが生い茂る茂みゾーンには、在来種を脅かす外来種も残念ながらたくさん入ってしまっている。特にオオキンケイギクは根から抜き取って駆除をしたい！

ひと目を気にせず滑走路を横断するタヌキ



Step1 PR動画でお気に入りの自然環境を見つける！

PR動画では、「朝日の昇る様子」や「一面に広がる草原」などの絶景とともに、見所まんさいの自然環境(生きもの)について紹介します。生きものたちの繋がりや、吹合ノ岬のあまり知られていない魅力が詰まっています。ワンシーンだけでも「吹合ノ岬の〇〇っていいな」と思ってもらえたらうれしいです！

このQRコードから動画を見ることができます!!



(約5分)



Step2 動く散策マップで見どころをチェックする！

私たちは「Stroly(ストロリー)」を使用して「動く散策マップ」をデザインしました。「動く散策マップ」は、アプリをダウンロードしていなくても、スマホ上で位置情報と見所情報を重ねて確認できます。ただ歩くだけでは見逃してしまうような情報をたくさん載せました。実際に吹合ノ岬に行き、地図上のアイコンを押すとどんな体験ができるかが分かるような内容が表示されます！

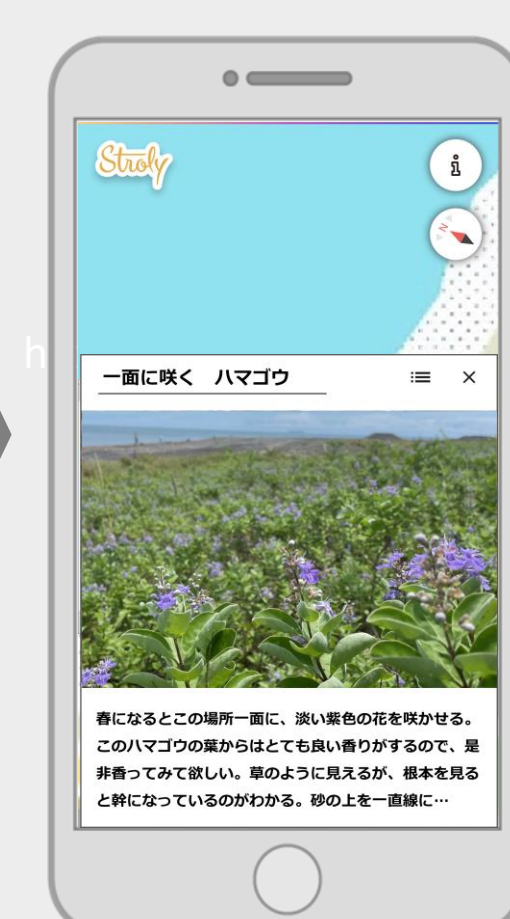
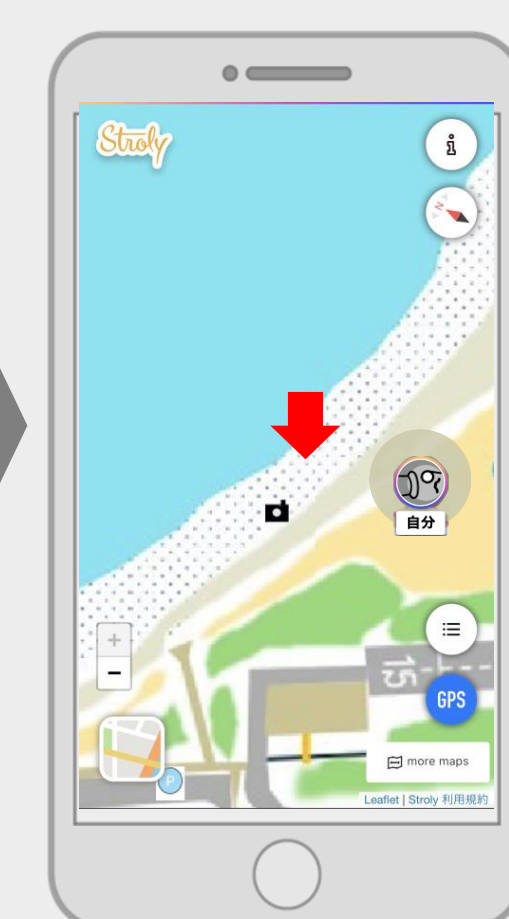
StrolyのHP: <https://stroly.com/ja>

【使い方】

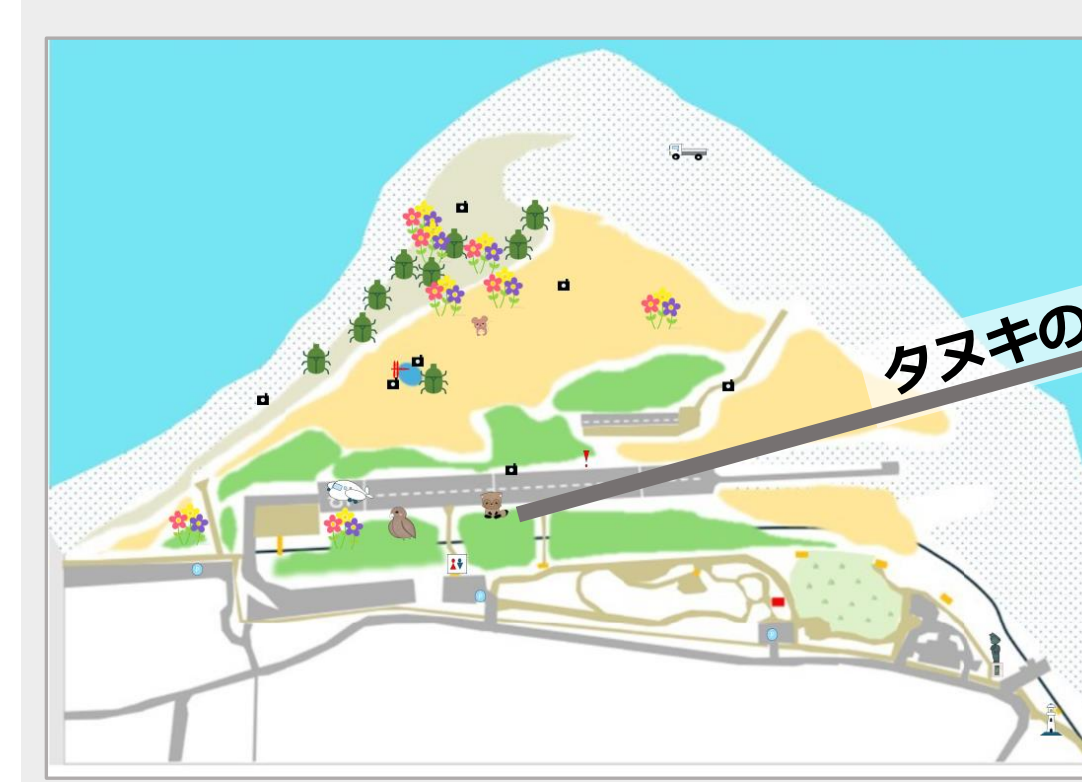
- 1 動く散策マップを開く
- 2 アイコンを押す
- 3 見どころ情報が現れる
- 4 ボタンの説明



上のQRコードをスマホカメラで読み取ってください！



- ① GPS を押すと、散策マップ上で自分の位置を確認できます。
自分の位置を示す印 → 
- ②  を押すとアイコン一覧が現れ、表示/非表示が操作できます。
- ③  を押すと航空写真(satellite)や道の地図(OSM)を背景に選べます。



デザイン：3年石原 知歩さん